

補強土植生法枠工(GTフルム)を採用したコスト改善

工事名： 災害防除工事（一般府道柚原向日線）

概要： 従来の法枠工・植生基材吹付に替えて景観性・経済性・施工性に優れる補強土植生法枠工を採用した。

※ 新工法（NETIS：CB-070019-V）

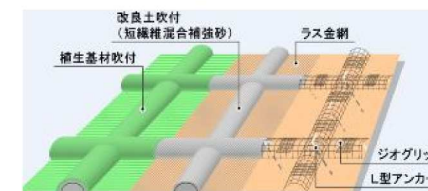
効果：

- コスト改善 （従来）法枠工・植生基材吹付工と比較（コスト改善率37%，32，370千円／88，230千円）
- 補強土植生法枠工は材料が従来の工法より軽量であり，日当り施工量が向上するため工期を短縮 （工期短縮割合48%，24日／50日）
- 景観上は，初期の段階から法枠が目立たない仕上がりとなっている。

【従来】



【新】 完成イメージ（平成26年度工事完成写真及び緑化イメージ）



配水池内面防食工法にステンレス鋼板内張り工法を採用したライフサイクルコストの改善

工事名： 蹴上浄水場第1 高区配水池改良工事

概 要： 従来、主に既存のRC造りの配水池の内面防食工は、施工性及び経済性の観点から、エポキシ樹脂系塗装工を採用してきたが、本工事においては、配水池を新たに築造するため、ライフサイクルコスト縮減の観点から、ステンレス鋼板の内張り工を採用した。

効 果：

- ステンレス鋼板を採用しているため、衛生性及び耐食性に優れることから、耐用年数が半永久的である。
- エポキシ樹脂系塗装と比較した場合、施工費は約2倍になるが、維持管理費用は、配水池の耐用年数（60年）において、約6億円削減でき、ライフサイクルコストを約48%縮減できた。

【従来】 エポキシ樹脂系塗装工



施 工 費 : 約19,000円/m²
維持管理: 15年に1度改修実

【新】

ステンレス鋼板内張り工法



施 工 費 : 約42,000円/m²
維持管理: 清掃程度で改修は不要